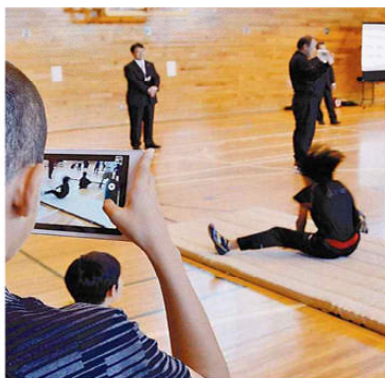




年 組 名前

道新で  
ワークシート

## 算数 授業でプログラミング

体育  し動きを確認

体育でマット運動を撮影する児童たち



コンピューターに指示を出し、多角形を描く算数の授業

「もう少し早く脚を開いた方が良いね」。体育館に並べられたマットの隣で、6年生の児童は5人一組のグループに分かれ、同級生が開脚前転をする様子をタブレットで手際よく撮影。グループ全員でタブレットを囲み、動画を見ながら互いにアドバイスをした。

桔梗小は昨年度、タブレットを12台購入。体育では1グループに1台を割り当て、鉄棒や跳び箱でも同じ使い方をした。授業を受けた庄司みらいさん(12)も「動画で見ると、どこを直したら良いかわかりやすい。難しい回転技もできるようになった」とうれしそうに話す。

算数では、多角形の内角の和の公式を利用し、コンピューターに指示して、多角形を描かせる授業も実施している。山本昇吾教諭は「基礎知識を身につけていれば、手書きではできない100角形などの応用した図形を描くことができる」とし、プログラミング教育によって論理的思考力を鍛えられると期待する。市教委によると、プログラミング教育をすでに授業で取り入れている学校は市内ではめずらしいという。

ICTを使える環境整備が進む一方、鍵となるのは教員の育成だ。市教委は16年度からプロジェクトやタブレットの活用について教員研修を進めてきた。教育指導課は「来年度はプログラミング教育の回数や研修内容を一層充実させ、教員個人のスキルを引き上げ、各校で同レベルの授業を実施できるようにしたい」としている。

学校教育でのICT(情報通信技術)活用が函館市内の小中学校で進んでいる。市内で先進的な市立桔梗小では、体育で児童がタブレットを使って互いの動きを撮影、確認することで技術の向上につなげている。市教委は次期学習指導要領に対応できるように、環境整備と教員育成の両方を進めたい考えだ。

(菊池真理子)

## 函館の小中 ICT活用進む

## 市教委 環境整備、教員育成推進図る

実を規定している。小学校では2020年度にプログラミング教育が必修化される。

2018年12月6日朝刊函B社会 (記事は再編集しています)

①見出しの  に当てはまる言葉を、記事の中の言葉を使って書きなさい。

②あなたなら授業の中でタブレットをどのように活用しますか。具体的な教科名をあげて書きなさい。